

発注企業動向調査結果

-2023.4-

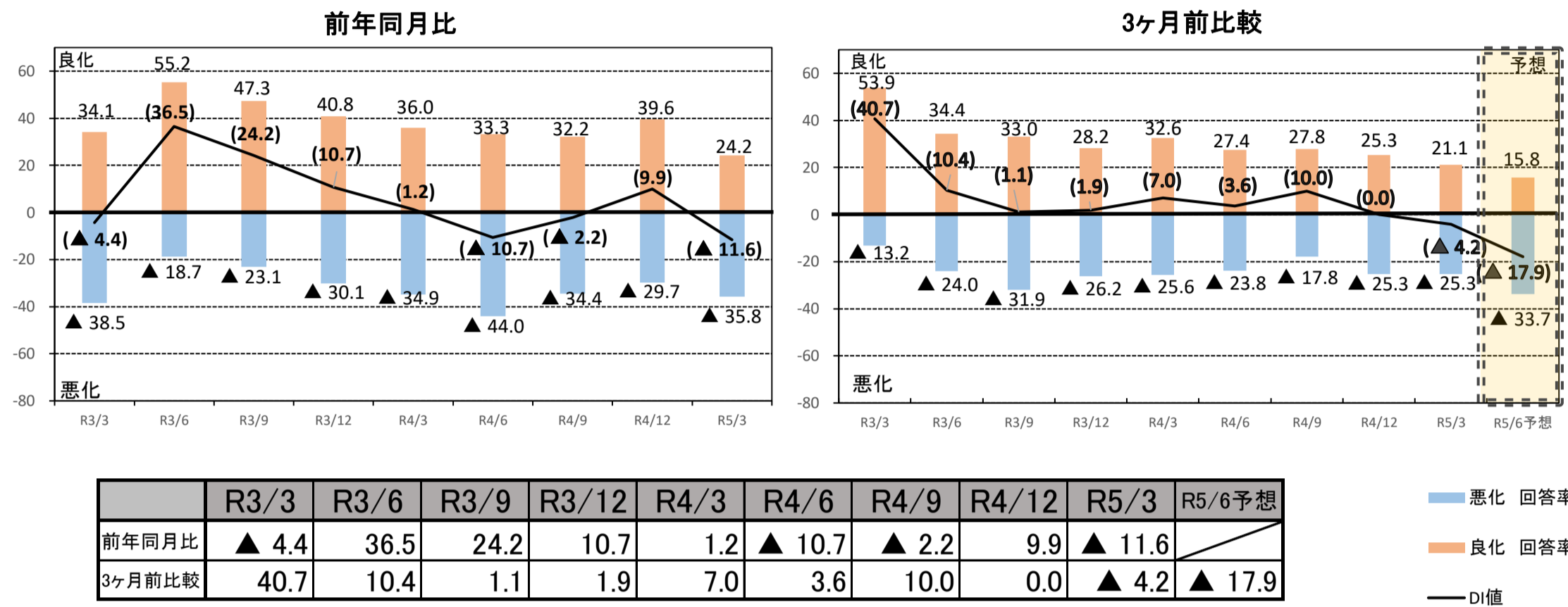
- 調査時点 令和5年3月調査(令和5年3月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業95社(回答率:63.33%)

<業種内訳>

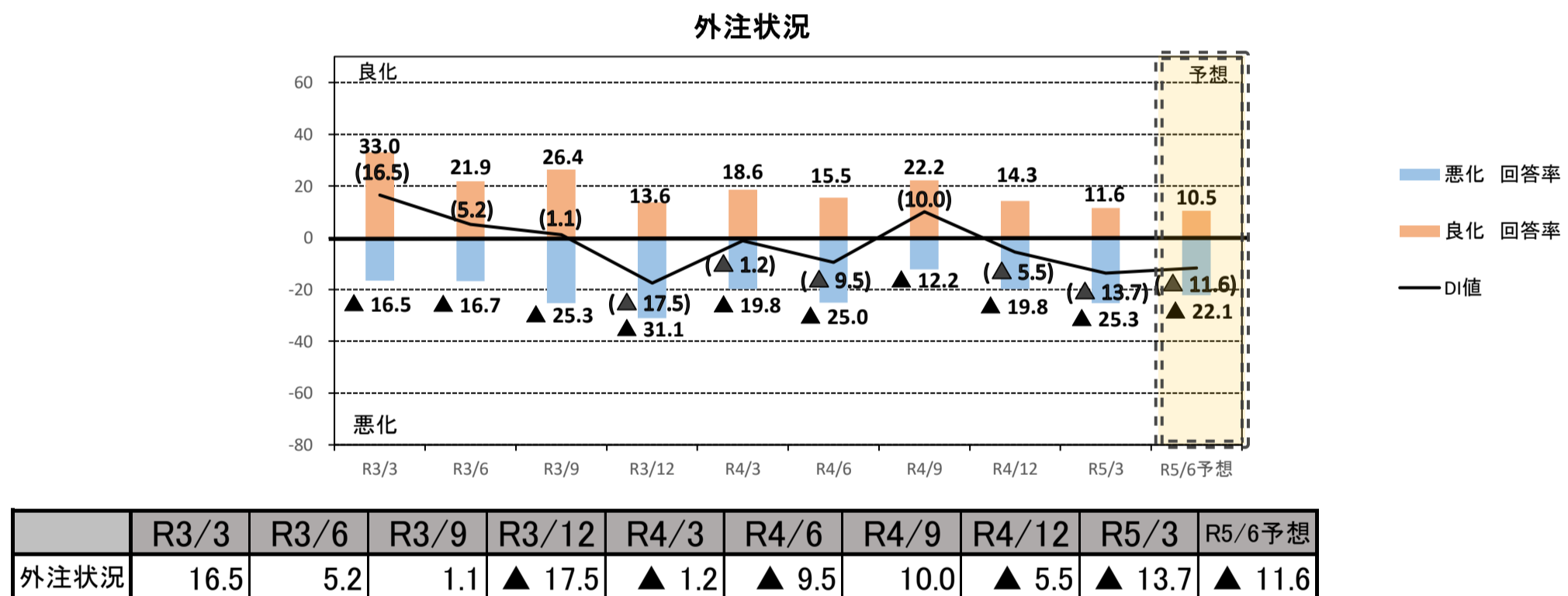
プラスチック	12社
鉄鋼・非鉄	11社
金属製品	6社
一般機械器具	18社
電気機器	21社
輸送用機器	19社
精密機器	4社
縫製	4社
計	95社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲11.6で前回の9.9から21.5ポイント減となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは▲4.2で前回の0.0から4.2ポイント減となった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲13.7で前回の▲5.5から8.2ポイント減となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲17.9、外注状況が▲11.6という予想になった。
- ・その他自由意見として、

- ・20~30代の人材が集まらない。
- ・原材料の値上げが続いている。
- ・部品調達は良化しているが、一部は相変わらず入手難であり、顧客に迷惑を掛けている。
- ・光学・医療機器向けは堅調であるが、一般産業機器向けは減少している。
- ・半導体製造装置関係が減少している。秋頃に回復するとの情報があるが、不透明な状況である。
- ・車載用半導体の供給不足が継続している。
- ・半導体不足により、減産を行っている。

一方で、
・売上が回復傾向にある。

という意見が寄せられた。